



アンケートを通して 高校生の本音を探る

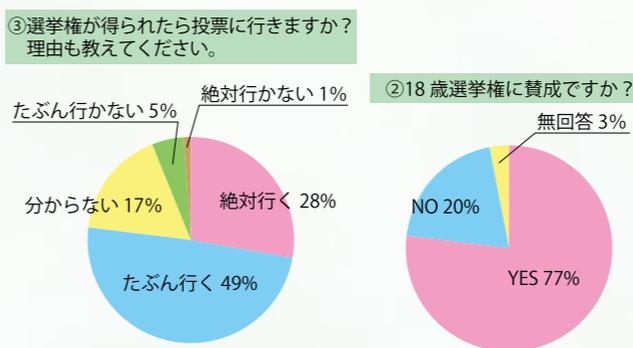
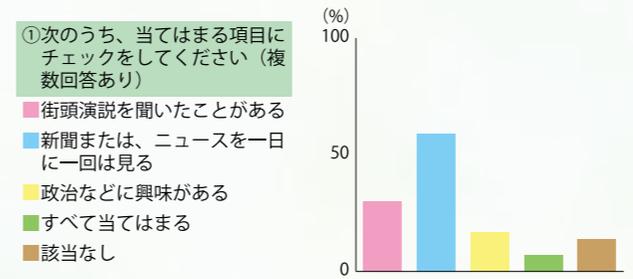
私たちが
編集しました!



18歳選挙権を高校生の視点から見る

来夏、平成28年6月19日より改正公職選挙法が施行され、選挙権年齢が現行の「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられます。それによって、今まで選挙権を持たなかった高校生が新しく選挙権を持つようになります。そこで、当事者の高校生108人に18歳選挙権に関するアンケートを行い、現時点での「政治や社会に対する興味や意識」また「18歳選挙権に対する意見」を調査しました。

実施したアンケートの項目は次のようなものです。



①の回答より、「新聞またはニュースを一日に一回は見ると答えた人の割合が最も多く、全体の半数以上を占めました。街頭演説を聞いたことがある」「政治などに興味がある」と答えた人は少ない結果となりました。これらから、高校生のなかで、社会の出来事に関心を持っている人は多いが、政治自体に関心を持っていない人は少ないのではないかと考察しました。社会や政治に興味がない人が多いのは、私達高校生が考え

て行動したとしても変わるものではないという思いがあるからだと思います。もしも18歳選挙権によって、若者の意見を反映してもらえるのであれば、それを明確に説明してほしいと思います。

また②③より、18歳選挙権に賛成の人は約8割、また「絶対行く」「多分行く」と答えた人は合わせて約8割と、18歳選挙権や投票に対して積極的な考えを持っている人が多分に分かれました。投票に行くことを面倒に思う高校生が多いだろうと予想していたので、この結果は意外でした。投票に行くこと答えた人の意見としては、「自分も政治に関わらないといけないと思つ」「投票率が低いことに危機感を感じる」「与えられた権利だから」など何かしら

■編集者が気になるコメントをPickup!
「日本の政治を決める権利を持つことができるようになったのに、行かないともったいない」
▶折角ある権利を使わないともったいないという考え方は日本ならではの考え方 (寺)
「私たちの世代から世の中を変えていかないと日本が終わってしまうかもしれない」
▶「自分の意見が正しいという自信がもてない」
▶自分も選挙権が得られると聞いたとき、18歳という年で自分が社会のためになる正しい判断ができるのか不安になった (杉)

けない高校生も多いと思うので、問題に感じました。そこで、そのような人達が投票所に足を運ばなくてもスマートフォンを使ってウェブ投票できるシステムがあれば便利だと思います。18歳選挙権が導入されて数年の間は、目新しいものとして関心が高まり、若者の投票率も上がるかもしれません。しかし、それを継続さ

せることが大切です。その後投票率が下がらないようにするには、私達高校生が意識的に選挙について興味を持ち続けるだけでなく、大人からの積極的な働きかけが必要だと考えます。例えば、学校での民主主義や政治についての学習の強化、また、模擬投票を通して実践的に選挙について学ぶ機会を提供するなどし、若者

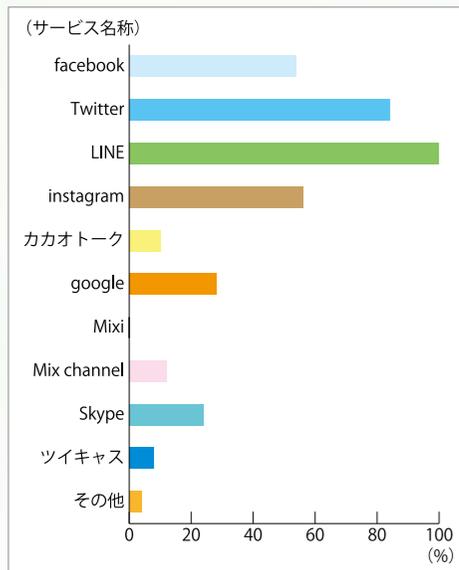
が政治に触れ、興味を持つきっかけを作る。他にも各政党候補者の演説の様子をYouTubeにアップする、マニフェストや意気込みをTwitterで発信する、政治の現状についてテレビや携帯ゲームなどを用いて発信する、など若い世代に身近な媒体を用いて、分かりやすい言葉や説明で選挙活動を行い、若者の目にも留まり

やすくする、などです。そのような、若者が投票を身近に感じることでできる環境づくりが当面の課題であり、18歳選挙権導入の成功に欠かせないものになると感じています。

編集者
山本 美桜 (高校2年)
寺園 日向 (高校3年)

私たちがSNSに夢中なわけを大公開

近年、高校生のSNS依存によるコミュニケーション能力低下が問題視されています。SNSは生活に必要な不可欠なものではないにもかかわらず、なぜ私たちはSNSの使用を止められないのでしょうか。その疑問を解くにあたって、高校生50人にSNSに関するアンケートをとってみました。



SNSとは
ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略で、登録された利用者同士がインターネット上で交流できるサービスのこと



このグラフから、現代の高校生はLINE、Twitter、facebookを主に使用していることが分かりました。また、アンケートにより、主な使用目的は他人と気軽に情報交換するためという結果も得られました。一般にSNSは友達と連絡を気軽にとることにのみ使用されていると思われがちですが、定期テストの対策を友達と行うため、といった使用目的もあります!! 最近高校生の間では、「テストはチームプレイ」「高得点をとるには人望も必要」といわれるほど他人とテストについての情報交換をすることが重要

とされています。なぜなら、人それぞれノートのとり方は異なるし、担当の先生によっても要点のまとめ方が異なるからです。複数の先生によって作成されるテストを攻略するためにSNSを使ってノートやプリントの写真を交換することが大切だと考えられています。このように高校生は連絡手段だけでなく、勉強という面でもSNSを使用しています。今後もSNSの新たな使用目的を発掘できると良いですね。

編集者
杉村 志帆 (高校3年)